

事務事業評価シート

事務事業コード	007600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	医師確保対策事業		所属名	公営企業 鳥取市立病院

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市立病院医師奨学金貸与 条例
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	その他
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立病院の常勤医師
意図 (どのような状態 にするために)	地域医療を支える自治体病院として、また、東部医療圏の中核病院として地域住民に安定した医療機能体制の提供
手段 (どうするのか)	将来、鳥取市立病院において医師として勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより、鳥取市立病院における医師の確保を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与(12名)する。	①医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	①医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	①医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	①医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	
	年度別実績	①医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与5名					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,000	29,364	29,364	29,364	29,364	
	直接経費 A	12,000	29,364	29,364	29,364	29,364	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,000	29,364	29,364	29,364	29,364		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	医師奨学生数(定員:各学年2名 計12名)	人	目標	12	12	12	12	12	
		実績		5	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
	実績		0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取市立病院総務課 0857-37-1522</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 将来、鳥取市立病院において医師として勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより、鳥取市立病院における医師の確保を図る。</p> <p>【事業の成果】 毎年度、医師奨学生を募集・決定し、奨学金を貸与する。 募集人員2名/年度+欠員分(定員各学年毎に2名、計12名) 貸与額 200,000円/月(入学年度の4月のみ、282,000円加算)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">当年度</td> <td style="text-align: center;">次年度</td> <td style="text-align: center;">次年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">医師奨学生数</td> <td style="text-align: center;">初期臨床研修開始医師</td> <td style="text-align: center;">常勤開始医師</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">9名</td> <td style="text-align: center;">2名</td> <td style="text-align: center;">0名</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">7名</td> <td style="text-align: center;">2名</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">5名</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも地域医療を確保していくためには、病院自ら医師を養成し、確保していく体制を継続していく必要がある。</p>		当年度	次年度	次年度		医師奨学生数	初期臨床研修開始医師	常勤開始医師	平成26年度	9名	2名	0名	平成27年度	7名	2名	1名	平成28年度	5名	1名	1名
		当年度	次年度	次年度																	
	医師奨学生数	初期臨床研修開始医師	常勤開始医師																		
平成26年度	9名	2名	0名																		
平成27年度	7名	2名	1名																		
平成28年度	5名	1名	1名																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	医師奨学生数(定員:各学年2名 計12名)	42%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	全国的な医師不足の中、将来当院に勤務することとなる医学生を確保するための奨学金制度であるが、応募者が減少傾向にあり、当年度はゼロとなった。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	本制度を通じ、当院の常勤医として勤務する医師の確保が図れているが、応募者が減少傾向にあり、当年度はゼロとなった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>全国的な医師不足であり、大学医局へ医師派遣要請を粘り強く継続しているが、当院の医師不足の状態は続いている。そのような中、本制度において将来当院に勤務することとなる医学生を確保し、常勤医師としての勤務につながっている。近年応募者が減少しているため、今後より一層広報等に努め、奨学生の確保を図る必要がある。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	007700	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	単位老人クラブ活動助成事業		所属名	福祉部 高齢社会課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	単位老人クラブ活動補助金			予算事業コード	01-03-01-05-11-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	単位老人クラブ
意図 (どのような状態にするために)	高齢者の生きがいを高めるとともに健康づくりを促進し、もって明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上のため。
手段 (どうするのか)	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	
	年度別実績	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	15,160	0	0	0	0	
	直接経費 A	15,160	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,434	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,726	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	老人クラブ会員の維持	人	目標	12935	12630	12630	0	0	
		実績		12908	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理企画係 0857-20-3451</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P64(福013)</p> <p>【事業の概要】 老人クラブの活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、会員数に応じた補助を行う。</p> <p>【事業の成果】 補助を通じて、老人クラブの活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進した。 ○決算額の推移 平成26年度決算額 15,652千円 クラブ数273クラブ 平成27年度決算額 15,228千円 クラブ数269クラブ 平成28年度決算額 15,161千円 クラブ数267クラブ</p> <p>【今後の課題・方向性】 老人クラブは、健康増進活動をはじめ、子供の通学見守り活動や小学校花壇整備等のボランティア活動など、各種の地域づくり事業を担っているが、全国的に老人クラブ数の減少が進む中、鳥取市老人クラブの維持を目指す。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	老人クラブ会員の維持	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	活動を休止したクラブがあったため

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>高齢者の健康増進や社会活動への参加促進に成果が認められ、今後も継続が必要な事業と考えている。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	007800	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	高齢者介護予防支援バス運行事業		所属名	福祉部 高齢社会課

1. 基本情報

位置づけ の 実施 目標 の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の種別			平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名				予算事業コード	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	60歳以上の高齢者の団体
意図 (どのような状態 にするために)	高齢者の健康保持を目的とする教養講座など高齢者が参加する機会の拡大
手段 (どうするのか)	運行条件を満たす場合に、バスを運行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別計画	①高齢者バスの運行	①高齢者バスの運行	①高齢者バスの運行	①高齢者バスの運行	①高齢者バスの運行
年度別実績	①高齢者バスの運行 運行件数:591件 利用者数:10,580人						
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	バスの運行件数	件	目標	592
	(指標の説明)		実績	591	0	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：2月補正</p> <p>【事業の概要】 高齢者の団体に対して高齢者バスを運行し、高齢者の生きがいがづくりや地域交流の推進を図る。</p> <p>【事業の成果】 ○利用件数・利用者数 平成26年度 572件 10,675人 平成27年度 592件 10,858人 平成28年度 591件 10,580人</p> <p>【今後の課題・方向性】 公共交通機関利用促進事業への転換などの検討が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	バスの運行件数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>公共交通機関利用促進事業への転換などの検討が必要である。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007900	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公共交通機関利用助成事業		所属名	福祉部 高齢社会課

1. 基本情報

位置づけ の 目標の 種別	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の 種別	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
			0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	公共交通機関利用助成事業費			予算事業コード	01-03-01-05-13-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上の高齢者の団体 ・各地区公民館を拠点に活動している団体
意図 (どのような状態にするために)	高齢者の健康保持を目的とする教養講座など各種研修、生きがいを高めるためのレクリエーションへの参加など条件を満たす場合、また市民が、研修会などへ参加するための貸切バス利用の助成を行うことで、市民が研修を受ける機会の拡大を図る。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉バスが運行できない運行時間外、土日祝祭日、年末年始を補完するため、貸切バスの利用に対して助成を行う。 ・各地区公民館を拠点に活動している団体が、各種大会、研修会などへ参加するため貸切バスを利用した場合助成を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①公共交通機関利用助成	①公共交通機関利用助成	①公共交通機関利用助成	①公共交通機関利用助成	①公共交通機関利用助成	
	年度別実績	①公共交通機関利用助成 利用件数:122件					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,701	0	0	0	0	
	直接経費 A	6,701	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		6,701	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	助成件数	件	目標	118	0	0	0	0	
		実績		122	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
	実績		0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 管理企画係 0857-20-3451</p> <p>【10次総の施策体系】 1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P65（福015）</p> <p>【事業の概要】 高齢者の団体が、健康保持のための教養講座や、広く地域社会との交流を図り生きがいを高めるためのレクリエーション、研修などに参加する場合、または、市民が地域活動、研修会などへ参加する場合において、貸し切りバスなどを利用した場合、その経費の一部を上限5万円まで助成する。</p> <p>【事業の成果】 利用実勢 平成26年度 135件 平成27年度 118件 平成28年度 122件</p> <p>【今後の課題・方向性】</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	助成件数	103%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>今後も継続する。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008000	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	介護予防教室事業		所属名	福祉部 地域包括ケア推進課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成18年度 ~ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	事業分類区分	ソフト(任意)
			0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	おたっしや教室事業費		予算事業コード	15-09-01-01-02-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	運動機能等の低下など要介護状態等となるおそれの高い状態にある高齢者
意図 (どのような状態 にするために)	自発的・継続的な介護予防の取組みを促進
手段 (どうするのか)	介護予防に資する通所型運動教室を実施して、介護予防の知識・意識を啓発する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①おたっしや教室開催 目標参加者 710人 ・地区公民館型 540人 ・健康増進施設型 180人	①おたっしや教室開催 目標参加者 720人 (地区公民型のみ)	①おたっしや教室開催 目標参加者 720人 (地区公民型のみ)	①おたっしや教室開催 目標参加者 720人 (地区公民型のみ)	<<事業廃止>>	
	年度別実績	①おたっしや教室開催 <<実績>> 開催:4施設、36教室 参加者:729人 ・地区公民館型 549人 ・健康増進施設型 180人					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	32,512	0	0	0	0	
	直接経費 A	32,512	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	32,512	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	参加人数	人	目標	710	720	720	720	0	
				実績	729	0	0	0	0	
	(指標の説明) おたっしや教室参加人数(実)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画連携係 0857-20-3449</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P325(介004)</p> <p>【事業の概要】 平成18年度からの介護保険法改正により、地域支援事業の介護予防事業として、通所型介護予防事業である本事業を開始。運動機能等の低下など要介護状態となるおそれのある高齢者(二次予防事業対象者)を対象に、介護予防に資する知識・意識の啓発や、閉じこもり防止を図るため、通所型運動教室を実施している。</p> <p>①公民館型：地区公民館等で、運動機能や栄養状態、口腔機能の改善のための実技指導、講話等を実施。 ②健康増進施設型：市内のスポーツジムで、各施設の運動機器を用いて運動指導等を実施。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(公民館型)</td> <td style="text-align: center;">(健康増進施設型)</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">458名(計53教室)</td> <td style="text-align: center;">159名(4施設 計23教室)</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">554名(計56教室)</td> <td style="text-align: center;">193名(4施設 計30教室)</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">549名(計58教室)</td> <td style="text-align: center;">180名(4施設 計36教室)</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、運動器機能の維持・向上のための運動を指導し、その習慣化を図る教室を、地区公民館等で開催し、高齢者の自発的・継続的な介護予防の取り組みを促進する。</p> <p>※その他財源のその他は、介護保険料等</p>		(公民館型)	(健康増進施設型)	平成26年度	458名(計53教室)	159名(4施設 計23教室)	平成27年度	554名(計56教室)	193名(4施設 計30教室)	平成28年度	549名(計58教室)	180名(4施設 計36教室)
		(公民館型)	(健康増進施設型)										
平成26年度	458名(計53教室)	159名(4施設 計23教室)											
平成27年度	554名(計56教室)	193名(4施設 計30教室)											
平成28年度	549名(計58教室)	180名(4施設 計36教室)											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	参加人数	103%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>平成28年度はおたっしや教室に729人が参加し、介護予防の取り組みを推進することができた。今後は高齢者の自発的、継続的な運動の習慣化を図るため、身近な地区公民館等で開催するおたっしや教室に特化し、高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援する。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	008100	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	認知症地域支援・ケア向上事業		所属名	福祉部 地域包括ケア推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ～ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	認知症地域支援・ケア向上事業費			予算事業コード	15-09-02-01-05-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認知症の人
意図 (どのような状態にするために)	できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるようにする。
手段 (どうするのか)	認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族の相談支援の実施と医療・介護等の関係機関と連携して、地域における認知症の人の支援体制の構築と認知症ケアの向上に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①認知症地域支援推進員配置数 1名 ②認知症カフェ設置数 7箇所	①認知症地域支援推進員配置数 2名 ②認知症カフェ設置数 8箇所	①認知症地域支援推進員配置数 2名 ②認知症カフェ設置数 10箇所	①認知症地域支援推進員配置数 4名 ②認知症カフェ設置数 15箇所	①認知症地域支援推進員配置数 4名 ②認知症カフェ設置数 18箇所	
	年度別実績	①認知症地域支援推進員配置数 1名 ②認知症カフェ設置数 7箇所					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,398	0	0	0	0	
	直接経費 A	5,398	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,398	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	認知症地域支援推進員配置数	人	目標	1	2	2	4	4
		(指標の説明)		実績	1	0	0	0	0
	2	認知症カフェ設置数	箇所	目標	7	8	10	15	18
		(指標の説明)		実績	7	0	0	0	0
	3			目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画連携係 0857-20-3449</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P329(介011)</p> <p>【事業の概要】 国が策定した認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に沿って「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮し続けることのできる社会」の実現を目指し、認知症施策の充実に取り組んでおり、平成27年7月より認知症地域支援推進員を法人委託により1名配置し、官民協働で認知症施策を推進している。</p> <p>【事業の成果】 認知症地域支援推進員が、認知症の人やその家族の専門的な相談支援を実施することで、支援対象者の認知症ケアの向上と医療・介護等の関係機関との連携強化につながった。</p> <p style="text-align: center;">(認知症地域支援推進員配置数) (認知症カフェ設置箇所数)</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td style="text-align: center;">5箇所</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td style="text-align: center;">7箇所</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 組織体制の強化に併せて、認知症地域支援推進員を地域包括支援センターごとに配置を進めるよう検討する。</p> <p>※その他財源のその他は、介護保険料。</p>	平成27年度	1名	5箇所	平成28年度	1名	7箇所
	平成27年度	1名	5箇所				
平成28年度	1名	7箇所					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	認知症地域支援推進員配置数	100%				
	2	認知症カフェ設置数	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	<p>認知症地域支援推進員1名が支援活動を行うとともに認知症カフェの設置支援に取り組み、認知症カフェを7カ所設置することができた。</p>
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>認知症地域支援推進員1名が支援活動を行うとともに認知症カフェの設置支援に取り組み、認知症カフェを7カ所設置することができた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>活動2年目となる平成28年度は、引き続き相談支援や関係機関の連携強化に取り組む一方で、認知症カフェの設置支援に取り組み、認知症の人やその家族の支援体制の充実に取り組んだ。今後は、取り組みの強化や深化を目的に推進員の増員及び取り組みの成果が市民に十分に理解いただけるよう事業を進める。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008200	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	認知症初期集中支援推進事業		所属名	福祉部 地域包括ケア推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	認知症初期集中支援推進事業費			予算事業コード	15-09-02-01-05-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認知症の人
意図 (どのような状態にするために)	早期診断・早期対応により医療・介護サービスによる安定的な支援に移行する
手段 (どうするのか)	医療・介護の専門職で取組む認知症初期集中支援チームを設置し、初期集中支援を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①認知症初期集中支援チームの設置	平成29年度 ①認知症初期集中支援チームの設置	平成30年度 ①認知症初期集中支援チームの設置	平成31年度 ①認知症初期集中支援チームの設置	平成32年度 ①認知症初期集中支援チームの設置	
	年度別実績	①認知症初期集中支援チームの設置 今年度設置数:1 合計チーム数:1					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	549	0	0	0	0	
	直接経費 A	549	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	549	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	チームの設置数	単位	箇所数	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		(指標の説明)	目標	1	1	3	5	5				
			実績	1	0	0	0	0				
	2	指標名	初期集中支援ケース数	単位	件数	目標	5	50	150	250	250	
		(指標の説明)	目標	5	50	150	250	250				
			実績	5	0	0	0	0				
	3	指標名		単位		目標	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0				
			実績	0	0	0	0	0				

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画連携係 0857-20-3449</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P329（介012）</p> <p>【事業の概要】 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わる医療職・介護職で構成する「認知症初期集中支援チーム」の設置し、地域のかかりつけ医や介護事業者等と連携して、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。</p> <p>【事業の成果】 平成29年1月から全市域を対象とした認知症初期集中支援チームの取組を開始し、認知症の人やその家族の初期の支援を集中的に行うことで、認知症の人の早期診断・早期対応に取り組んだ。</p> <p style="text-align: center;">(チーム数) (初期集中支援ケース数)</p> <p>平成28年度 全市域対象に1チーム 5件</p> <p>【今後の課題・方向性】 対応可能な地域包括支援センターからセンター専門職と地域の医療・介護関係者で初期集中支援を実施できるよう体制の充実に取り組む。チーム数を増加させ、活動範囲を狭くすることで、より身近な存在となる仕組みとするため、人員体制の強化を図る。</p> <p>※その他財源のその他は介護保険料。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	チームの設置数	100%				
	2	初期集中支援ケース数	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	平成29年1月から全市域を対象に認知症初期集中支援1チーム設置の取り組みを開始した。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	認知症初期集中支援を5件を実施した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>取組み初年度となる平成28年度は、担当保健師1名を地域包括ケア推進課に配置し、保健師が支援対象者の住所地の地域包括支援センターの専門職と適宜チームを設置し、5件の初期集中支援に取り組むことができた。今後は、チーム数を増加させるための人員体制の強化を図る。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008300	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業		所属名	福祉部 地域包括ケア推進課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成27年度 ～ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	介護保険法	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	事業分類区分	ソフト(義務)
			0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	在宅医療・介護連携推進事業費(事業運営費)		予算事業コード	15-09-02-01-03-02	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	医療や介護が必要となった住民
意図 (どのような状態 にするために)	住み慣れた地域で可能な限り最後まで暮らし続けることができるように
手段 (どうするのか)	鳥取県東部医師会を拠点に、関係する医療・介護の多職種で、課題解決策の検討、情報共有、知識研修の場を設け更なる連携を強化し、東部地域全体で住民の在宅療養(生活)を支える仕組みを構築していく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	厚生労働省が示している8項目の事業を早期に開始できるよう取り組む	厚生労働省が示している8項目の事業をすべて取り組みを開始する	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、進展させる	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、進展させる	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、成熟させる	
	年度別実績	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを開始した					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,580	0	0	0	0	
	直接経費 A	12,580	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,580	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	取り組みを開始した厚生労働省が示す事業項目数	項目	目標	7	8	8	8	8	
				実績	8	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】医療介護連携係 0857-54-1970</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P328(介009)</p> <p>【事業の概要】 鳥取県東部医師会を拠点に、関係する多職種の協議・情報共有・研修の場を設け、地域資源把握や関係者のネットワーク構築、住民啓発等を推進し、在宅療養を希望する住民が住み慣れた地域で最期まで暮らせるよう、医療・介護で支えていく体制の構築を目指す。</p> <p>【事業の成果】 1 東部1市4町と東部医師会の協働で平成27年度に設置した「在宅医療介護連携推進室 東部医師会館内」を拠点に取組みを継続した。 2 東部地区在宅医療介護連携推進協議会及び同ワーキンググループ並びに他団体との協同検討会議により、課題解決に向けた活動を実施した。 3 平成27年度作成の「鳥取県東部 医療・介護資源マップ」を随時情報更新した。 4 事例検討等の多職種研修会(5回)、寸劇を活用した住民啓発学習会(1回)を開催した 5 県との共催で、各種啓発・研修を推進するファシリテーターを養成(21人)した。 6 東部で統一した入院時の情報提供書「介護・医療連携シート」を作成、運用した。 7 医療介護関係者からの相談支援体制を整備(医師会在宅医療介護連携推進室が対応)した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 関係者の連携強化による更なる仕組みづくりが必要であり、住民の医療に対する意識変容を含めた啓発が重要である。引き続き、行政(1市4町)、医師会の連携による取組みを継続し、2025年に向け東部 地域全体で地域の医療・介護の充実を目指していく。</p> <p>※その他財源のその他は、介護保険料等</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	取組みを開始した厚生労働省が示す事業項目数	114%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画より1年度早く、厚生労働省が示している8項目の事業すべての取組みが開始できた。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	計画より1年度早く、厚生労働省が示している8項目の事業すべての取組みが開始できた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>厚生労働省が示している8項目の事業すべての取組みが開始できたが、その検討結果が形となるよう取組みを強化する必要がある。引き続き東部医師会と東部1市4町が協働で地域住民の暮らしを守るため継続した取組みが必要である。また、関係者の取組みだけでなく、住民への啓発活動を進め、取組みへの関心を高めていく必要性が高い。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	008400	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	生活支援体制整備事業		所属名	福祉部 地域包括ケア推進課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成27年度 ～ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	事業分類区分	ソフト(義務)
			0	0	運営方法	直営
		0	0	会計区分	特別会計	
予算	予算事業名	生活支援体制整備事業費(事業運営費)		予算事業コード	15-09-02-01-04-02	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者
意図 (どのような状態 にするために)	既存の通所介護や訪問介護だけでなく多様な担い手による生活支援サービスの提供体制を確保する。
手段 (どうするのか)	関係多職種による「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」を設置して定期的に情報共・連携強化に取り組むとともに、「生活支援コーディネーター」を配置して地域の生活支援サービスの担い手の育成や立ち上げ支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 ②生活支援コーディネーターの配置 4名	①鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 ②生活支援コーディネーターの配置 7名	①鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 ②生活支援コーディネーターの配置 7名	①鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 ②生活支援コーディネーターの配置 10名	①鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 ②生活支援コーディネーターの配置 10名	
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①検討会開催 3回 ②生活支援コーディネーター4名配置					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	20,025	0	0	0	0	
	直接経費 A	20,025	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,025	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	生活支援コーディネーター配置数	人	目標	4
	(指標の説明)		実績	4	0	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要

【問合せ先】企画連携係 0857-20-3449

【10次総の施策体系】1302

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次：当初予算・P328 (介010)

【事業の概要】
介護保険法の改正に伴い、既存の通所介護や訪問介護だけでなく、多様な担い手による生活支援サービスの提供体制を構築するため、関係多職種による「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」を設置して検討を行うとともに、「生活支援コーディネーター」を配置し、地域のサービスの担い手の育成や立ち上げ支援を行う。

【事業の成果】
生活支援サービス関係団体で構成する「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会（第1層協議体：全市対象）」において介護予防・生活支援サービス提供体制の方向性を協議するとともに、「生活支援コーディネーター（第1層：全市域、第2層：日常生活圏域）」による地域での聞き取り等を行い、地域課題の把握やその解決に向けた検討を行った。

	[生活支援C]	[検討会会議]
平成27年度	1名（第1層のみ）	5回（準備会含む）
平成28年度	4名（第1層：1名 第2層：3名）	4回

【今後の課題・方向性】
今後も生活支援コーディネーターを複数名配置し、地域資源の調査や地域ニーズの把握等を行うとともに、「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」において、多様な主体による生活支援・介護予防サービスの必要性やあり方等について検討を行う。

※その他財源のその他は、介護保険料

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	生活支援コーディネーター配置数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)		

平成28年度は生活支援コーディネーターを1名から3名に増員し、地域での事業参加や聞き取り活動などを通じて地域福祉関係者との連携を強化して地域の課題把握とその解決に向けた検討を行うとともに、第1層協議体である「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」において平成29年4月に移行する介護予防・日常生活支援総合事業の方向性等について検討を行った。今後も、行政サービスのみならず多様な事業主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を地域の実情に応じて整備するため、取り組みの強化を図る。

事務事業評価シート

事務事業コード	008500	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	アクティブシニア世代等移住推進事業		所属名	福祉部 高齢社会課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度～平成31年度
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	その他
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	その他
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	サービス付き高齢者向け住宅の整備を促進する。
意図 (どのような状態にするために)	県外高齢者の移住を促進し、転入超過を目指す。
手段 (どうするのか)	県外移住者を促進するための方策を検討する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①サービス付き高齢者向け住宅の整備を促進	①サービス付き高齢者向け住宅の整備を促進	①サービス付き高齢者向け住宅の整備を促進	①サービス付き高齢者向け住宅の整備を促進	①サービス付き高齢者向け住宅の整備を促進	
	年度別実績	①サービス付き高齢者向け住宅の整備を促進 ・住宅数(H28時点) 9施設、133戸					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	県外からの入居者数	人	目標	20	40	60	80	0	
		実績		21	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 管理企画係 0857-20-3451</p> <p>【10次総の施策体系】 1302</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 高齢者の生活を支えるため、サービス付き高齢者向け住宅の整備を促進する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度までに、9施設、133戸が整備され、県外からの入居者は21人となった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も施設整備は進んでいくと見込まれ、県外居住者の誘致について、実態を把握しながら、施策を検討する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	県外からの入居者数	105%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 県外居住者の実態を把握しながら、施策を検討する。		

事務事業評価シート

事務事業コード	008600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	佐治町国民健康保険診療所運営事業		所属名	福祉部 保険年金課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成2年度～全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	医科運営費			予算事業コード	16-01-01-01-02-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	佐治町をはじめとする地域住民
意図 (どのような状態 にするために)	健康の維持増進及び医療の提供を行うために
手段 (どうするのか)	安定的な医師の確保に努め、診療所の運営・維持を図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①医師の勤務しやすい環境の整備 ②医師の確保 ③無医地区の地域医療サービスの提供	①医師の勤務しやすい環境の整備 ②医師の確保 ③無医地区の地域医療サービスの提供	①医師の勤務しやすい環境の整備 ②医師の確保 ③無医地区の地域医療サービスの提供	①医師の勤務しやすい環境の整備 ②医師の確保 ③無医地区の地域医療サービスの提供	①医師の勤務しやすい環境の整備 ②医師の確保 ③無医地区の地域医療サービスの提供
年度別実績	①医療機器の整備 ②県からの自治医大卒業医師の派遣を継続 ③医療及び介護サービス(訪問リハビリ)のサービスを継続実施					
	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	51,785	0	0	0	0
	直接経費 A	51,785	0	0	0	0
	国・県	827	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	34,825	0	0	0	0
直接経費の財源内訳	一般財源	16,133	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	常駐医師数	人	目標	1
	(指標の説明)		実績	1	0	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 庶務係 0857-20-3481</p> <p>【10次総の施策体系】 1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P315（国013）</p> <p>【事業の概要】 無医地域となる佐治地域の住民の健康・福祉の維持増進のため、民間では採算性の低い地域において公的診療所を維持し、地域医療サービスを提供する 診療科：内科、小児科、外科（開設：平成2年4月2日） 職員：医師1名、看護師2名、非常勤事務職員（嘱託）1名</p> <p>【事業の成果】 鳥取市立病院との医薬品共同購入等による経費の節減及び人間ドックをはじめとする各種健診の積極的な実施による収益向上に努めた。また、介護サービス空白地の解消のため平成25年度に開始した訪問リハビリ事業も在宅サービスの向上につながっている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成26年度</th> <th style="text-align: center;">平成27年度</th> <th style="text-align: center;">平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間診療日数</td> <td style="text-align: center;">215日</td> <td style="text-align: center;">212日</td> <td style="text-align: center;">213日</td> </tr> <tr> <td>年間件数</td> <td style="text-align: center;">6,634件</td> <td style="text-align: center;">6,235件</td> <td style="text-align: center;">5,960件</td> </tr> <tr> <td>1日平均</td> <td style="text-align: center;">30.9件</td> <td style="text-align: center;">29.4件</td> <td style="text-align: center;">28.0件</td> </tr> <tr> <td>訪問リハビリ</td> <td style="text-align: center;">548件</td> <td style="text-align: center;">313件</td> <td style="text-align: center;">210件</td> </tr> <tr> <td>診療報酬収入</td> <td style="text-align: right;">77,516,070円</td> <td style="text-align: right;">72,206,889円</td> <td style="text-align: right;">66,864,525円</td> </tr> <tr> <td>その他雑入</td> <td style="text-align: right;">10,806,733円</td> <td style="text-align: right;">8,676,870円</td> <td style="text-align: right;">9,367,584円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 地域住民の健康維持を図るために常駐医師の確保が優先的な課題であり、計画的に医師が勤めやすい診療環境の整備を進めながら、引き続き地域医療サービスの提供に努めていく。</p>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	年間診療日数	215日	212日	213日	年間件数	6,634件	6,235件	5,960件	1日平均	30.9件	29.4件	28.0件	訪問リハビリ	548件	313件	210件	診療報酬収入	77,516,070円	72,206,889円	66,864,525円	その他雑入	10,806,733円	8,676,870円	9,367,584円
		平成26年度	平成27年度	平成28年度																									
年間診療日数	215日	212日	213日																										
年間件数	6,634件	6,235件	5,960件																										
1日平均	30.9件	29.4件	28.0件																										
訪問リハビリ	548件	313件	210件																										
診療報酬収入	77,516,070円	72,206,889円	66,864,525円																										
その他雑入	10,806,733円	8,676,870円	9,367,584円																										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	常駐医師数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>民間では採算性の低い地域において、地域住民の健康維持を図るため、常駐医師の確保及び公的診療所の維持を継続していく必要がある。</p>		